



あの除草剤が

# ユニーク!

農家さんに20年も愛される除草剤「トツガン」。  
「トツガンR」として、これからも確かな除草をサポートします。



※WCS:稲発酵粗飼料



©水元あきつく



ハビエ



ホタルイ



コナギ



アゼナ

初・中期一発処理除草剤

# トツガンR

1キロ粒剤

## 特長

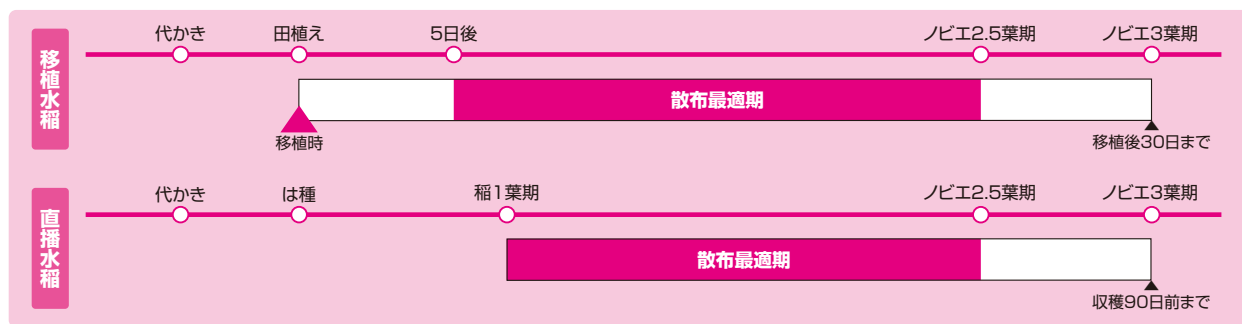
- ノビエを始めとする水田一年生雑草からホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、クログワイ、オモダカ等の多年生雑草を含む広範囲の雑草にも有効です。
- スルホニルウレア系除草剤抵抗性(SU剤抵抗性)のホタルイ、アゼナ類、ミゾハコベ、コナギ等の雑草に高い効果を示します。
- 水稲に対する安全性が高く、田植同時処理が可能です。
- 直播水稲に使用できます。

## 適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ シズイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：ピリミノバックメチル2回以内、プロモブチド2回以内、ベンスルフロンメチル2回以内、ペントキサゾン2回以内

## 標準的な使用時期



### △使用上の注意

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失わないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヘラオモダカは2葉期まで、オモダカ、クログワイは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないため、有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなってください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。

- 砂質土壌の水田および漏水田(減水深が2cm/日以上)。
- 軟弱苗を移植した水田。
- 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田。
- 直播水稲に使用する場合は以下に注意してください。
- 発芽直後の稲に対して薬害が生じるおそれがあるので、適切な覆土をおこない、稲の1葉期以降に散布してください。
- 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら

の作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

### △安全使用上の注意

- 誤食などのないようご注意ください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗い、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2020年12月現在の知見に基づき作成しています。

1933(21-1)

